



見逃されやすい働きにくさ 『ADL自立患者の 高次脳機能障害と復職支援』

ADL自立の裏に隠れた高次脳機能障害は、就労を妨げる見えない壁となります。支援者として、この見過ごされがちな課題にどう向き合い、患者の「働きたい」を叶えるか。そのヒントがここにあります。

2025年 **7月11日** **金**

参加無料

- ・ 日時： 2025年7月11日（金）16:00～17:00
- ・ 場所： **オンライン開催（Zoom）**

* 参加者に後日会議リンクをお送りいたします

- ・ 参加対象：脳卒中による高次脳機能障害支援に携わる医療従事者・支援者等

講師

京都大学医学部附属病院
総合臨床教育・研修センター／精神科神経科
植野 司 医師



— 講演内容 —

日常生活が自立している脳卒中患者さんでも、本人も周囲も気づきにくい高次脳機能障害が潜んでいることがあります。見逃されがちな注意障害や処理速度低下などの症状が職場でどう現れるか、気づきのポイント、評価や、復職支援機関との連携など、具体的事例を交えながらお話しします。



※ 切り：7月9日（水）

QRコードまたは以下のURLからお申し込みください。
お申込みいただいた方に、後日会議リンクをお送りいたします
URL: <https://forms.gle/P6GfuSqZN291iT5VA>

